

お詫び

鳳翔会会員の皆様へ

拝啓 いよいよ年の瀬も迫ってまいりました。会員の皆様方に置かれましては、何かと慌ただしい日々を送られておられることと拝察いたします。

さて、OB 通信復刊 25 号を過日お受け取りになられたと思いますが、誠に申し訳ないことに、「支部活動報告」および九州支部の堀 剛さんのエッセイ「子猫ものがたり」の原稿を頂戴しておりながら、これらを掲載することを失念して印刷し、送付してしまいました。つきましては、記事を執筆いただいた各支部長の皆さん、堀 剛さんはもとより、会員の皆さまにも大変なご迷惑をお掛けしましたことをここに深くお詫び申し上げます。

この前代未聞のミスは、OB 通信編集を担当した私、古谷個人の注意不足、確認不足に起因するものであります。その対応として、全ページ差し替え再編集、再発送も考えましたが、時間的制約など諸々の事情もあり、誠に申し訳ないのですが、「追補版」の発行という形で、ご勘弁、ご理解をいただきたいと思っております。

なお、今回のミスはあくまで私個人のミスに起因するものですので、当然のことですが、「追補版」に関わる費用につきましては、鳳翔会の会計には一切ご迷惑は掛けていないことを、念の為、申し添えておきます。

以上、年の瀬に入ってお騒がせしましたことを改めてお詫び申し上げます。

来年 10 月 17、18 日の「鳳翔会創立 20 周年記念 福岡総会」へのご参加を是非よろしくご願ひ申し上げます。どうぞ、良い年をお迎えください。

敬具

2019.12

鳳翔会会長 古谷 眞之助

OB 通信

鳳 翩

復刊 25 号

追補版

=2019 年 12 月=



山口大学ワンダーフォーゲル部 OB 会
鳳翩会

追補版 もくじ

				ページ
1	支部活動報告			
	山口支部	山口支部長	古谷 真之助	1
	九州支部	九州支部長	龍 純二	2
	関西支部	関西支部長	池田 純	4
	東京支部	事務局長	秋山 高広	5
2	エッセイ			
	子猫ものがたり	S57経 卒	堀 剛	6



【山口市・菜香亭】

【お断り】 ご投稿いただいた原稿は、編集の都合上、文字、写真レイアウトなど変更した部分があります。ご了承下さい】

1.支部活動報告

山口支部活動報告

山口支部支部長 古谷眞之助

今年度 8 月以降の活動は、実行委員会 2 回と総会後に打ち上げ懇親会を開催しました。山口支部は今年度総会担当支部となっていましたので、例年の春と秋のイベントは中止して総会準備に注力しました。総会終了後の打ち上げでは、まず総会の反省会を行い、その後は来期の役員人事、そして来期の支部活動として、春は笠戸島ハイク、夏は暑気払いのビアパーティを行う方向でいます。また、支部の活動への参加者を増やす活動もしていく予定でいます。



【8月実行委員会兼OB通信発送作業】



【9月 最終の実行委員会】



【無事、総会も終わり、実行委員 20 人中 14 人が集まって、打ち上げ懇親会を実施しました】



7月27日(土) 懇親会(暑気払い)

出席者11名：永沼、武富、清家、桑江、堀夫妻、光山、池田、富田、天野、龍博多 つつじ庵にて開催。

これまでの活動報告と今後の予定を確認する。来年のOB総会にむけて、有力候補地の太宰府・二日市温泉の下見を9月頃に実施することにした。

57年卒の堀さんが福岡に戻られてご夫婦で参加された。



博多 つつじ庵にて

9月14日(土) 日帰り山行：天拝山(257m)と二日市温泉

参加者8名：永沼、秋山、前原、北原、岩本、桑江、富田、龍
来年のOB総会の下見をかねて天拝山と二日市温泉へ。

天拝山は菅原道真公ゆかりの山で、都落ちの無実をはらすため幾度も登頂し天を拝したという伝説による。

二日市温泉ではホテル大観荘で宴会場の下見と料金等の確認を行う。帰りには博多湯に入り汗を流した。二日市温泉は福岡県でもっとも古く、万葉の頃からある温泉として知られている。



頂上にある天拝神社にて

10月5日(土) 6日(日) 一泊山行：九重・三俣山

参加者6名：永沼、北原、清家、桑江、堀、龍
永沼、北原、清家さんは桑江さんの車に福岡から同乗で、私は久留米から、高速大分道の玖珠SAで待ち合せする。堀さんは宿泊なしで翌日の三俣山登山にすがもり越えて合流の予定。土曜日は晴天に恵まれ、陽射しが強い。ススキの中を長者原から雨ヶ池越えて坊がツル、法華院温泉へ。法華院温泉は標高1300mの九州で一番高いところにある温泉で、登山者に人気の温泉。明日の天気を疑わずに眠りにつく。

朝起きると、ザーザーぶりの雨。朝食のときは、出発までに止んでくれればと願う。



長者原にて

出発する頃に丁度雨が上がり、このまま晴れてくれることを期待する。予定の時間より少し遅れてすがもり越えに到着し、堀さんと合流。時折雨が降り、ガスがかかったり切れたりであったが、三俣山本峰を目指し出発する。火山灰土のミヤマキリシマが群生した中の道は歩き難い。雨も断続的に降り、展望が期待できないので三俣山本峰で下山することにする。長者原に下山後、ホテル花山酔の立ち寄り温泉で汗を流す。



三俣山本峰にて

11月2日(土) デイキャンプ：今宿野外活動センター

参加者11名：永沼、秋山、武富、木下、清家、桑江、笹田、堀、光山、池田、龍

今年も今宿野外活動センターでデイキャンプをおこなった。

いつもの「掘ちゃん牧場」の美味しい肉をこれでもかと食べました。

帰りには、武富さんのご好意により武富農園で恒例のイモ掘りをさせていただきました。



今宿野外活動センターにて



武富さんの農園にて

関西支部2019年後半の活動状況ご報告します

当支部では最低半期に一度何か活動を行うように頑張っています。今年度は前半は大阪府能勢の剣尾山で、後半は奈良の山辺（やまのべ）の道散策を計画しました。支部会員もだんだん高齢化が進み山行だとちょっとと思う方もひょっとしたらいるかと思い今回平地にしました。内容は下記の通り

開催日 11月30日

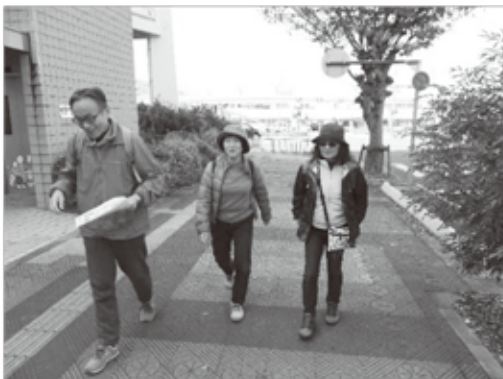
参加者 秋山さん 森さん 清（旧姓 田中）さん 清さんははるばる名古屋から来られています。

では当日の様子

集合は、JR+近鉄の天理駅朝10時。山辺の道は日本最古の道、奈良から桜井（三輪山の麓から東北部の春日山の麓）を指しますが、日帰りで道草しながらとなると全行程はむつかしく途中の天理で北と南に分けており、南のほうが見どころが多いと言われてます。そこで南側を計画しました。このコースの良いところは見どころもさることながら鉄道が並行しているので時間切れの場合いつでも切り上げることができます。

集合は、JR、近鉄の天理駅朝10時。ここから東に天理教本部の建屋を見ながら進む。最初の目的地石上神社に到着お参りしたあと内山永久寺跡から夜都伎神社に向かいます。峠道といっても高低差知れてるのだが、石畳のすべりやすい道を下りしばらくするとお茶屋さんが見えてきた。早速休憩ピザとお餅つきぜんざいで一時間ぐらゐ歓談。なかなか前へ進みません。重い腰を上げて出発。早々案内板の矢印を読み落とし逆方向に歩いたため道を誤りしばし迷う。迷ったときは元に戻る原則でコースに復帰さらに進む。

夜都伎神社付近からは、道は畑の中や路地裏を通り車がいってこなくなり非常に歩きやすい。道のわきには柑橘類が植えてあり手に届くところにたわわに実がなっているが失敬する人はいないよう。秋山君の木々の植物類の解説が楽しい。



天理駅出発



無人販売にてお買い物

このあたりから南コースの中間点に近づいてくるので桜井方面からやってくる人とたくさんすれ違う。なぜか我々と同年代の人が多く、中には20人ぐらゐの団体さんもいる。若い人には会わない。実は40年ぐらゐ前同期の小田君と同じコースを歩いたのだが記憶では結構若い人が多かった。年寄りが元気なのはいいことだと思う。無人販売があちこちにありミカンや里芋を買う。精米も400円/kgで売っていた。銘柄はヒノヒカリで良心的な値段。ヒノヒカリは収穫時期が10月以降で早生のキヌヒカリより遅い。その分熟成しているのでおいしい（と思う）。遅い分手間暇かかり田植え時期も5月連休以降になるので兼業農家では大変である。ついつい田んぼを見るが秋起こし（耕運）前なので稲刈り直後とみる。近隣の農家の方々はこの品種を植えているようだ。畔もきちんと整備されまめな方が多いとみる。

竹ノ内環濠集落付近の田んぼのわきにはところどころ休憩所があり、さっきピザ食べたばかりなのに昼食をとる。先は長いすぐに出発。途中の茶店で草餅を買って食べながら歩く。なんだか食べてばかり。

山辺の道は歴史とロマンの街道で佳境に入ってくる。このあたりには古墳が多く、まずは畝田陵（西殿塚古墳）ふすまだりょう・（にしとのづかこふん）に到着、丘陵の高い場所に造られた古墳で、奈良盆地を一望することができる。資料によると古墳の規模は全長約230m、後円部径145m、高さ約16m、前方部幅130m、東側墳裾からの高さ11.3mあり、萱生地域では最大の前円後円墳 陵墓として管理されている

ため、埋葬施設は確認されていませんが、竪穴式石室と考えられています。

築造された時期は古墳時代前期前半（遅くとも 4 世紀前半）被葬者は継体天皇の皇后、手白香皇女(たしらかのひめみこ)の陵墓「手白香皇女衾田陵(たしらかのひめみこふすまだのみささぎ)」とされています。



途中生駒山方面を望む



衾田陵へ向かう

古墳を見学したためコースから外れたが、すれ違うグループの方から近道を教えられ柿木畑の農作業道路を少し歩く。奈良はご存じ柿が有名、山いっぱいになっている柿を見ると圧倒される。電柵があちこちに設置されているので注意。古墳すべてによっていると帰れなくなるので先へ進む。

長岳寺に到着、時間もたっているので素通りしようかと思うが地獄絵図 11 月 30 日まで開帳の看板に惹かれ寄ってみることにする。入山料 400 円たくさんの人の後ろから絵図を見る。なんだかよくわからない。奥の院石棺仏の看板があり、登り道がある。ワングルの習性として登ってみたいくなり、先へ進む。道のわきに石棺があり石仏が祭られている昔たくさんの修道僧が行き来した道一回りする。旧地藏院本堂により庭を眺め帰ることにした。

この先もいいところがたくさんあるのだが、日暮れが早いこの時期すでに午後の 3 時過ぎ。とても三輪まで行けない。はるかかなた大和三山が見える。またくればよいと考え帰路に就く。柳本駅まで 30 分ぐらい。駅に着いたとたん電車が出てしまい 1 時間近く待たされることになった。無人駅だがさすがに観光地なので駅中にレストランがあり、ここにて打ち上げを行う。ご苦労様でした。



東京支部活動報告

事務局長 秋山高広

akiyamat231@gmail.com

東京支部では、9月15日(日)に少し遅めの暑気払いを行いました。

暑気払い

9月15日(日) 15時から17時半。

場所：新宿 かなえ

参加者：村上、三浦、恵谷、小林、弓削、福永、森本、野村、弟子丸、深田、小関、小田、木村夫妻、木下乙洋、真島、宮園、守沖、佐々木、高津、宮原、高田、松永、城戸、秋山（計26名）



（暑気払いの後に、全員集合）

今回は趣向を変えて、日曜日の早めの時間開催としてみました。明るい時間に帰るのはいいことですね。

皆さん、2時間半ひたすら飲みかつ歓談を続けられました。

26名もの人数が集まるのは東京支部だけではないかと思うのですが、おおむねメンバーは固定化してきており、他の支部と同じように若手の参加が少ないのが気になっています。

支部長も若手に（と言っても皆60歳すぎ）もっと仲間を誘って欲しいとハッパをかけておられました。

会報を手に入れている関東地区のみなさん、ぜひ懇親会に顔を出してください。大歓迎します。事務局宛てにメールをいただきましたら、支部懇親会のご案内を差し上げます。

次回は、1月下旬に新年会を予定しています。

2.エッセイ

子猫ものがたり

九州支部 昭和57年卒 堀 剛

2018年7月のことです。その頃私は東京に勤務中でワングルOB会も東京支部に所属していました（東京支部のみなさん大変お世話になりました）。その時の当面の登山目標は、南アルプス・北岳に妻を連れて行くことで、7月14日（土）～15日（日）の一泊二日で白根御池小屋にテント泊し、二日目に登頂の後下山する計画を立てました。

私は翌2019年3月に定年退職の後、実家のある福岡に帰り90歳の父と暮すことを決めていましたが、妻は諸々の事情から7月17日に一足先に帰福することになっていたので、今回の山行が失敗すれば、当面妻に次のチャンスは無いという事情がありました。妻は山女のワングル出身で、前年には甲斐駒ヶ岳や仙丈ヶ岳と一緒に登ったりもしていましたが、北岳となればひととき危険になるので、確実に登頂するためには相応の準備が必要と考えました。

そこで本番2週間前の6月30日（土）～7月1日（日）に一泊二日で南御室小屋にテント泊し、二日目に鳳凰三山の薬師岳、観音岳に登頂の後下山するリハーサル山行や、その翌週には北岳（右俣コース）を確実に登り切るために日帰りですが谷川岳・西黒尾根を登るなどして準備を整えました。

それは谷川岳に登った翌日、7月10日（火）のことでした。私は9日、10日と年休をもらい、9日に谷川岳に登り、翌日に体力を回復させ、11日から出勤する予定でした。その頃の関東地方は大変暑く、西黒尾根を登った消耗はかなりのものだったようで、翌日は自宅でエアコンを効かせてゆっくり休んでいても、

暑くて体のだるさが中々抜けな感じでした。そこで甘いものを食べるかと「アイスクリームを食べよう！」と妻に提案し、私が近くのコンビニに歩いて買いに行くことにしました。私の自宅は7世帯が入る会社の集合住宅の2階の一室で、階段を降りると駐車場がありました。その駐車場付近を何気なく歩いてみると、横目にふと小さな動くものが目に入りました。

それは生まれて間もない、掌に乗るくらいの子猫でした。そしてふらふらと二~三步歩いたかと思うとばたつとつ伏せに倒れ動かなくなりました。近付いてよく見ますと、目は目ヤニで潰れたようになり、おでこにカラスに突かれた様な大きな傷があり、鼻の頭には大きなダニがくっつき、時折体毛の間から赤い蚤が見え隠れしていました。息が苦しそうで動かなくなりました。実は私と私の家族(妻、長男、長女)は無類の犬猫好きです。私は慌てて妻を呼びに戻り、妻はとりあえず水とスポイドを持ってきて水を少しずつあげようとしたのですが動きません。「ここで死ぬのを見守ってあげることしかできないのかな」との思いが頭を過ぎりましたが、その時、子猫は妻が与えた水にむせ、グホグホしながら一瞬立ち上がりました。「あっ！まだ生きる力があるかもしれない！」と思い、子猫を妻に任せ、コンビニに行きバニラアイスクリームを買って帰り(ビールも買いましたが…)これを溶かして少し与えてみました。そうするとほんの少しでしたが口を動かしアイスクリームを食べたのでした。「生きようとしている。」との思いから部屋に連れて行き、段ボール箱に毛布を敷いて寝かせることにしました。暑さが体力を奪っていたので、部屋では少し落ち着いたようで、眠っては時折小さな声で鳴いていました。

翌7月11日、私は出勤しましたが、妻が子猫を動物病院に連れて行きました。獣医の見立てでは、生きるか死ぬか予断を許さない状態で、子猫の生きる力したいとのことでした。会社から帰ると箱の中の子猫はスースーとよく眠っていました。回復するよう懸命に眠っているように思えました。そこで名前を「ミン(眠)」と付けました。

ただ、問題がありました。私たちは14日、15日に北岳に登頂する目標があり、17日には妻が福岡に行きます。登山中ミンを一人(一匹)にするわけにはいかず、17日以降、私が単身で勤めながらミンの世話を出来る訳がなく、また、社宅にはペット禁止のルールもありました。

しかし北岳登山の間は近郊に住む娘夫婦が来て面倒を見てもらい、無事に好天の二日間の中で登頂することができました。17日以降の飼い主も(奇跡的に)見つけることができました。獣医の見解では、どうやら一命はくい止めたものの障害が残る可能性があるとのことでしたが、そのことを知りながら飼いましょうと言

ってください。私たち以上に無類の猫好きと偶然にも出会えたのでした。

カラスに襲われて瀕死の状況で必死に歩き辿り着いた所に無類の猫好きがいて、その猫好きがたまたまアイスクリームを食べようと思ってその子猫を見つけた。そして、更に無類の猫好きさんが現れて飼ってくれる。なんと運のいい子猫でしょう。

私どもに、小さな命を助けることのできた喜びを与えてくれた子猫のものがたりでした



ミン (飼い主さんに渡す日に撮った写真)



北岳山頂にて